

シラチャ校だより

泰日協会学校
シラチャ校
1, 9, 09 Tue



2学期のスタートにあたって

教頭 村上 茂弘

本日より2学期がスタートしました。各ご家庭では、どのような夏休みを過ごされましたでしょうか。久しぶりに見る子どもたちの顔は、充実した夏休みを送れた楽しさと、仲のよい友だちに会えた嬉しさで輝いていました。4月の開校時には、全校児童生徒88名でスタートしたシラチャ校ですが、この2学期には新たな仲間の編入学が10名あり、2学期のスタートは98名になりました。このような経済状況の中ですが、徐々に児童生徒数が増えていることにつきまして、職員一同大変嬉しく思っています。

さて、ご存じのように2学期は最も長い学期であり、行事等もたくさん予定されています。特に「第1回シラチャ校大運動会」は、種目の選定から用具の準備、当日の運営まで新たに計画をしている最中であり、保護者の皆様や日本人会の皆様のご協力をいただきながら成功させたい行事です。校外学習も予定しており、子どもたちも楽しみにしていることだろうと思います。1つ1つの活動に対して明確な目標を持たせた上で、児童生徒が主体的に取り組めるような支援をしていきます。楽しさだけでなく、充実感や達成感も味わうことで、さらに成長を遂げてくれるのではないかと考えています。

先日文科省より、全国学力テストの結果が公表されました。ご存じの通り、全国の小学6年生と中学3年生に対して実施しているテストですが、今年もまた秋田県が小学6年で1位、中学3年で2位という成績を収めました。この秋田県の根岸教育長が好成績の要因として次の4つの観点を挙げていらっしゃいました。

1. 望ましい生活習慣、学習習慣の確立
2. 授業改善と1人ひとりへのきめ細かな指導
3. 家庭・地域との協力
4. 大学との連携

1から3までは、まさに今シラチャ校で実践しようとして取り組んでいる課題です。1については、望ましい学習態度と心の通った人間関係づくりをおこなっているところであり、合わせて家庭学習の習慣づけをお願いしています。2については、少人数というシラチャ校の特色を生かして、1人ひとりへ細かく対応するように努力しているところです。また授業改善には、教師自身の主観だけでなく客観的な評価も必要ですので、周りの教師からの助言や子どもたちからの評価、そして保護者の皆様からの評価もいただいて、私たちのスキルアップを図っていきます。3については、申し上げる必要がないほどPTAや日本人会に支えていただいていますし、学校としましても、今後予定されている日本祭等に積極的に協力して地域貢献も果たしていきたいと考えております。これらの活動は、単に学力テストという観点だけではなく、子どもたちへよりよい教育をおこなうために必要な観点として、シラチャ校全職員で取り組んでいきます。引き続き、本校へのご支援を宜しく願います。